

第31回 山口県中学校技術・家庭科研究大会 岩国市・和木町大会

研究主題 [生きる力]をはぐくむ技術・家庭科教育

～実践的・体験的活動を通して自己の変容を実感できる授業の構想と展開～

家庭分野B分科会（選択提案）

幼児との交流



平成19年11月15日

下 関 支 部

く も く じ >

・ 題材名「幼児との交流」家庭B (家族と家庭生活) 題材の概要	・・・ 1
・ 学習指導計画	・・・ 2
・ 授業の実践事例	・・・ 3
・ 考 察	・・・ 4
・ 資料 1 おもちゃをつくろう (個人のカード)	・・・ 5
・ 資料 2 幼児の喜ぶおもちゃをつくろう!! (班のカード)	・・・ 6
・ 資料 3 幼児の喜ぶおもちゃをつくろう!! (製作の記録)	・・・ 7
・ 資料 4 手づくりのおもちゃを使って幼児とふれあおう	・・・ 8
・ 資料 5 手づくりのおもちゃを使って幼児とふれあおう (自己評価カード)	・・・ 9
・ 資料 6 体験記	・・・ 10
・ 資料 7 交流会の流れ	・・・ 11
・ 資料 8 おもちゃのアイデア (個人)	・・・ 12
・ 資料 9 おもちゃのアイデア (班)	・・・ 13
・ 資料 10 自己評価カード	・・・ 14

1 題材名 「幼児との交流」

2 題材の概要

(1) 題材の位置づけ

この題材は、第2学年後半から第3学年にかけて「B家族と家庭生活」の(1)自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり、(2)幼児の発達と家族、(3)家庭と家族関係を学習した後、第3学年で行う。幼児に対する理解を深め、幼児の心身の発達に応じた、幼児が喜ぶおもちゃを各自で考え、班で意見をまとめて製作することで、創造する楽しさや完成の喜びを実感することができる。また、それを使って遊ぶことで幼児への関心を高め、幼児とふれあうことの楽しさも実感させることができる題材である。さらに、幼児とふれあうことで、自分の幼児期を見つめ直し、周囲の人々への感謝の気持ちをもつことで、自己肯定につなげることもできる題材である。

(2) 題材の有効性

適時性： 近年、少子化・核家族化など生徒を取り巻く家庭環境が変化し、生徒は身近に幼児と接する機会が少なくなっている。その結果、幼児に対する関心が薄く、どう接して良いのかが分からない生徒が多い。幼児のためにおもちゃを作り、それを使って幼児と遊ぶことで、幼児への理解が深まり、ふれあいの楽しさを味わうことができると考えられる。また、このような経験を通して、自分の幼児期や今の自分を振り返ることができる本題材は、思春期を迎え精神的に不安定になりやすい中学生にとって適時性があると考えられる。

実践性： 幼児とのふれあいは、中学生の気持ちをおおらかにすることができる。また、幼児とふれあったときのとまどいから、幼児とどうかかわっていったらよいかを考え、臨機応変に対応することで、相手に応じたかかわりをする事の大切さを感じることができる。このことから、自分を育ててくれた周囲の人々の苦勞に目を向けるとともに、相手を思いやる心や他者に感謝する気持ちが高まると思われる。人とのかかわり方や他者の気持ちを考えることができる本題材は、すぐに生活に生かすことができる実践性のある題材と考えられる。

個別性： 各自のアイデアを持ち寄り、それぞれの班で幼児が喜ぶおもちゃづくりに取り組むことにより、一人一人の思いが生かせると考える。また、それを使って遊び方や接し方を工夫しながら幼児とふれあうことで、生徒一人ひとりが、自分の生活体験を生かしたかかわりができると思われる。よってこの題材は、個別性があると考えられる。

(3) 題材のもつ生活とのかかわり

実際に幼児とふれあう経験をとおして、幼児と遊ぶ楽しさが実感できる。この気持ちをもとに、自分の幼児期を見つめ直し、自分を育ててくれた周囲の人々の気持ちを考えることで、自分もかけがえのない大切な存在であることを再確認することができる。また、人とのかかわり方や他者の気持ちを考えるきっかけにもなる。このことから、学習内容がそのまま生活に生かされる生活課題に即効性のある題材である。

(4)学習指導計画(総時数9時間)

時	小題材	実践的・体験的 活動の工夫	評価内容	指導と評価の一体化につながるポイント (自己の変容が実感できる場面の設定)	評価の手段	学習指導要領
1	幼児の喜ぶおもちゃづくりの計画を立てよう	・一人ひとりがアイディアを出し合い班ごとに計画を立てさせる。	・製作の計画について、ワークシートにまとめることができる。	・幼児の喜ぶおもちゃを考えているか。 ・自分のアイディアをもとに班の話し合いに参加しているか。 ・完成図・材料・用具・計画についてまとめているか。	観察 ワークシートの提出 ・個人カード(資料1) ・班のカード(資料2) ・製作記録(資料3)	B(2)ア
2 3 4 5	おもちゃを製作しよう	・計画にそって、製作をさせる。 ・生徒のアイディアを大切にし、意欲を持たせる。 ・安全性やじょうぶさを考えて作るよう助言する。 ・幼児の興味を引くよう助言する。 ・遊び方を意識させる。	・計画にそって、意欲的に製作を行うことができる。 ・幼児の発達にちよびづくりに応じることができ、安全性に配慮している。 ・幼児の反応を予想しながら工夫して製作することができる。	・幼児が喜ぶおもちゃづくりを意識しながら製作を進めているか。 ・より楽しく遊べるように工夫をしているか。 ・班で協力し、意欲的に作業を行っているか。 ・製作を振り返り製作の記録をまとめているか。	製作記録の提出 観察 作品	B(5)ア
6	幼児とのかかわり方を考えよう	・幼児とどのように遊ぶかを考えさせる。 ・名札を製作させる。	・幼児とのかかわり方を話し合うことができる。	・幼児とのかかわり方を班で話し合っているか。 ・幼児とのかかわり方について、個人目標を決めているか。 ・幼児の目を引く、名札が作れるか。	ワークシートの提出 (資料4)	B(5)イ
7	手づくりおもちゃを使って幼児とふれあおう	・幼児に応じたふれあいを工夫させる。	・幼児と楽しく遊ぶことができる。 ・幼児の実態や場面に応じたかかわり方を工夫できる。	・手づくりのおもちゃを使って、幼児と楽しく遊ぶことができるか。 ・幼児に応じたかかわりができるか。 ・感動したことを自己評価カードに書いているか。	自己評価カード (資料5) 観察	B(5)イ
8 9	交流したことをふり返ろう	・体験記にまとめることで、自己をふり返らせる。	・自分の幼児期をふり返り、自分を見つめることができる。	・幼児との交流を振り返り、レポートにまとめることができるか。 ・友達の体験記を読んで、感動を共有し自分を見つめ直すことができるか。	体験記の提出(資料6)	B(2)イ B(5)イ

4 考察

「教科教室型」「地域開放型」「生活空間型」という夢が丘中学校の特徴を生かし、安楽保育園の園児を招いての授業を試みた。おもちゃづくりの前には、幼児に対して「すぐ泣く。」「めんどくさい。」「生意気。」というマイナスのイメージを持っていた生徒もいたが、実際に幼児と遊ぶことで、幼児のかわいさや幼児とふれあう楽しさを実感するようになった。男子生徒も、幼児をだっこしたり、おんぶしたりと積極的に関わるようになった。また、幼児も中学生とキャッチボールをしたり、鬼ごっこをしたり、いつもと違うダイナミックな遊びを楽しんでいたようである。幼児と楽しく遊ぶという目標は、おおむね達成できたように思う。

自然な形で交流が始められるよう、最初に幼児の名札をつけてあげることや、中学生も自作の名札をつけることを計画した。しかし、園児も生徒も遠慮があり、表情も硬いままであった。そこで、保育士さんと相談をし、手づくりのおもちゃで遊ぶ前に、「じゃんけん列車」で雰囲気のを和らげることを試みた。生徒と幼児が一对一で話をし、スキンシップがとれる場面を作ったのが良かったようで、それ以後は和やかな雰囲気で交流できた。初めは幼児を見下ろすように話をしていた生徒が、時間がたつにつれ、視線を合せて話ができるようになっていた。魚つりの魚や釣りざおを取り合って泣き出す幼児もいたが、「仲良くね。」「交代で。」と声をかけている生徒もいた。幼児の思いに合わせて鬼ごっこをし、最後は捕まえられてじゃれあっている生徒もいた。生徒一人ひとりが自分の生活体験を生かし、幼児に応じたかかわり方を工夫していた。体験することの大切さを実感した。ビデオを見たり、教師が教室で語っても感じ取れないことを、実際に幼児とふれあう体験をすることで、自然に気がつき、できるようになっていた。レポートの中には、「幼児が甘えてきてくれるのがとてもかわいくてしょうがなかった。私をいやしてくれた。私もあの頃はそうだったのかな。」というものがあつた。幼児とふれあつたときの「楽しかった。」「かわいかった。」という感動、幼児とふれあつていやされたという心の落ち着きが、自分の幼児期を振り返ったり今の自分を見つめるきっかけにつながると感じた。したがって、幼児とふれあうという体験は、自分を見つめ、人とのかかわり方や他者の気持ちを考えることにつながり、すぐに生活に生かすことができる題材であると考えられる。

今回の授業では、幼児と遊んでいる生徒のようすを教師が観察することと、生徒が記入した自己評価カードから評価することにした。短い活動時間の中で、安全面に気を配り、うまく関われない生徒に声をかけながら評価活動を行うのは、なかなか難しい。今回は、「楽しく遊ぶことができる」「遊び方やかかわり方の工夫ができる」という項目に絞ることで、評価することができた。人と接することが苦手な生徒も、友達といっしょにいることで幼児と関わることができていた。班を作つてのふれあい交流は、有効であつた。自己評価カードには、ほとんどの生徒が楽しかったと書いていた。素直なことばで幼児とふれあつた感動がつづられており、生徒の変容を実感できた。

今回の授業も、安楽保育園の先生方に交流学習の重要性を理解していただき、実施することができた。学習指導計画では、幼児とのふれあいはおもちゃを製作した後、1時間で行つた。保育園との調整がつけば、初めに幼児と交流をすることも考えられる。その幼児が喜んでくれるようなおもちゃをつくるという目標があれば、おもちゃがもっと工夫できたり、意欲的に製作に取り組めたりしたのではないかと思う。また、保育園に行くことで、幼児の生活にふれたり、幼児に合わせた遊具や建物の工夫なども観察させる機会になると考えられる。交流授業を進めていくうえでも、保育士さんとの連携が成功につながるので、日頃からの関係作りが重要である。

以上のことより、本題材は、実践的・体験的の活動を通して自己の変容を実感できるものであり、生活課題に即効性のある題材といえる。

おもちゃをつくろう

3年 組 番 氏名 ()

対象児は4～5才。

対象児はどんなことが好き？

↓

どんなおもちゃが作れるかな？

↓

そのおもちゃでどんな遊びができるかな？

↓

おもちゃを作るための材料や用具は？

↓

作り方は？

こんなとことに注意して

おもちゃを作ろう！！

- ・ 幼児の発達に合っていて、喜んで遊ぶことができるおもちゃ。
- ・ 衛生や安全に気を配る。
- ・ 配色がきれい。
- ・ 幼児が遊んでも壊れない丈夫なおもちゃ。

アイデアをたくさん出そう！！

<p>(例) おもちゃ：魚つりゲーム</p> <p>必要な材料と用具 ダンボール、竹、マジック、ひも クリップ</p>	<p>おもちゃ：</p> <p>必要な材料と用具</p>
<p>おもちゃ：</p> <p>必要な材料と用具</p>	<p>おもちゃ：</p> <p>必要な材料と用具</p>

幼児の喜ぶおもちゃをつくろう！！

年 組 番 氏名()

おもちゃのタイトル：	
材 料	
用 具	
完成図	
遊び方をくわしく書こう。	
製作者	

幼児の喜ぶおもちゃをつくろう！！

3年 組 番 氏名() ()班				
対象幼児 4～5才	内 容			
製作するおもちゃをとおして幼児のどのような能力を伸ばすことをねらっていますか。				
製 作 計 画 と 記 録	例	作 業 予 定	反 省 ・ 感 想	自己評価
		魚つり製作 魚の絵を5ひき描く。	ダンボールに10匹の魚の絵を描くこと ができた。次は、色を付ける。	A・B・C
	1			A・B・C
	2			A・B・C
	3			A・B・C
	4			A・B・C
	5			A・B・C
	6			A・B・C
自己評価 A：スムーズに進んだ B：だいたい計画通り C：あまり作業が進まなかった				
評 価		反 省		
幼児にふさわしいものができたか。		A・B・C		
丈夫なおもちゃができたか。		A・B・C		
配色は工夫できたか。		A・B・C		
計画に従って能率的に製作できたか。		A・B・C		
〈 作り終えての感想 〉				

家庭科プリント ～手づくりおもちゃを使って幼児とふれあおう～

3年組番氏名()

班で作ったおもちゃ	
-----------	--

おもちゃ作りの時に考えた遊び方をより具体的にしておこう。すぐに遊びに入れるように！

私たちが考えた遊びを分かってもらうために、どう話したら良いかを考えておこう。

おもちゃを使った遊びがうまくいかなかったとき、どうしたらよいかを考えておこう。

「手づくりおもちゃを使って幼児とふれあおう」でのあなたの目標を決めよう。

幼児との交流で気をつけることをまとめておこう。

家庭科プリント ～手づくりおもちゃを使って幼児とふれあおう～

3年 組 番 氏名()

〈自己評価〉

- | | | | |
|---|-----------------------------------|---------|--------|
| 1 | 今日の授業は楽しかったですか。 | 楽しかった | 楽しなかった |
| 2 | 幼児と積極的にふれあうことができましたか。 | できた | できなかった |
| 3 | 幼児とのかかわり方を工夫しながら
接することができましたか。 | できた | できなかった |
| 4 | 自分の目標は達成できましたか。
目標「 | | 」 |
| | できた | まあまあできた | できなかった |

今日の授業の感想を書こう

～生徒の感想より抜粋～

- ・だっこしてとびついてきてかわいかった。やっぱり小さい子どもといるとやすらぐなあ。
- ・小さい子どもと遊ぶのは楽しかったけど、すごく体力がいることが分かった。遊ぶのがこんなにきついとは思わなかった。いろんな子どもになつかれたのがすごく楽しかった。
- ・いろいろな性格の子がいたけど、話しかけてみると結構とけ込めてよかった。
小さい子はかわいいなと思った。
- ・いろいろ大変だったけど楽しかった。泣く子も恥ずかしがる子もいてどうしようかと思
ったけど何とかなった。楽しく遊んでくれてよかった。
- ・楽しかった。泣いたときはびっくりしたけど、すぐに元気になったのでよかった。
なついてくれてうれしかった。みんな元気がよくて疲れた。
- ・今日はすごい楽しかった。みんな幼児はかわいかった。

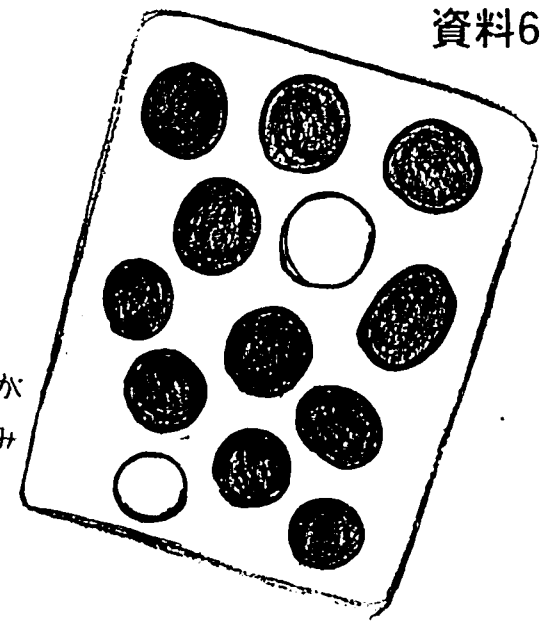
共に遊んで

私達幼稚園は、「ツィスター」を作りました。

ツィスターはシート(ダンボール使用)に丸い形で色々な色があちこちあり、ある人から、例:「右足赤」と言われたとき、みんなは右足を赤にしています。「左手黄」、「左足青」とか。体がくすれたり、指定の色につけないと、負けです。

↓

幼児のみんなは、とても楽しそうでした。1回〜2回の説明ですぐに理解していました。すべし。⇒ 遊ぶ子は、体を動かすから楽しいと言っていました。



改善点は、たくさんの子が遊びにきて、予想以上に多かったのもう一歩大きいた方が良かったのでは? と思いました。

交流してみても、最初出会ったとき、ちゃんと仲良くできるかなーと心配でした。しかし、幼児の子から、「名札付けて」と声をかけてくれてとても嬉しく、安心と喜びがあり、心が温くなりました。

私はもともと小さい子たちと遊ぶのが大好きでした。だからすぐと楽しくできました。

1人の女の子が私にすぐと離れず、他のところへ行っても3分もせずにすぐツィスターを手に来ていました。

なついてくれてとても嬉しかったです。

又、最後には数の子が近よってきてランケンをしてとても楽しいひとときになりました。

その後私はうでが筋肉痛になりました…。まじか!

学んだことは、みんな(幼児)は、うちらぐらゐの年の人に、とても甘えてくるんだ。ということ。

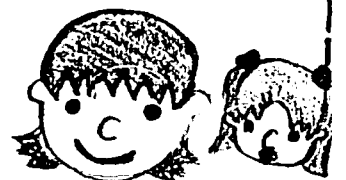
そして私は甘えてきてくれるのが、とてもかかいて、しうがあげませんでした。

いつか私はその日はテストが近くて、減点等たまっていたのですが、幼児とふれ合う中、いつしか減点なんてふっとんでいました。

幼児たちはとてもいい! 私の減点を治してくれた。又、おんぶやだっこ、じゃれ合うことも好きみたい。

私も品の頃はそうだったのか?...?

これからまたふれ合うことがあると思います、次は幼児からではなく、私からやさしく笑顔で、幼児の目線に合わせて交流できたらいいですね。



〜わり〜

交流会の流れ

	<p>給食が終わったら着替えをして多目的ホールに集合 つめは切っておく。 服装は、ジャージ、体操シャツ、半パンなど。 名札をつける。</p>
13:40	<p>中学生は多目的ホールに班ごとに並んでおく。 園児達が入ってきたらあいさつをする。 園児達は班ごとに輪を作って座る。5班に分かれる。 ↓ 中学生は、班ごとに園児の輪に入り交流をする。 名前を聞くなど、仲良くなる工夫をしよう。 (話題を考えておこう。) だっこ、おんぶなどしっかりスキンシップをしよう。 肩より高い位置には、あげない。安全第一！！ 甘えたくても上手に甘えられない幼児もいます。声をかけよう 中学生同士でかたまらないで、幼児としっかりふれあおう。</p>
13:55	話をやめて班ごとに集まって座る。正面を向く。
14:00	<p>学級委員あいさつ「歓迎のことばなど・・・」。おもちゃの紹介。</p> <p>班ごとに分かれてそれぞれのおもちゃで遊ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボーリング ・まと当て ・魚つり ・ツイスター ・輪投げ <p>遊びが一段落したら園児達が入れ替わる。</p>
14:40	<p>園児といっしょにかたづけをする。 班ごとに輪になって座る。 班ごとに今日の感想を幼児に聞く。 班ごとにお別れをする。握手・あいさつなど</p> <p>園児達とのお別れがすんだらおもちゃをブースに片付ける。</p>

おもちゃのアイデア (個人)

資料8


おもちゃ：
神経衰弱
(トランプじゃなくて少し大粒の、
動物の絵かはんか書いたカードに)

必要な材料と用具
厚めの紙 またダンボール・マジック

おもちゃ： ふくわらい
(人気のキャラクターバージョン)


必要な材料と用具
マジック・目かし用はさみ
画用紙 etc

おもちゃ： ボール入れゲーム
(玉入れ?)



必要な材料と用具
布、ボールになるようなもの
はさみ

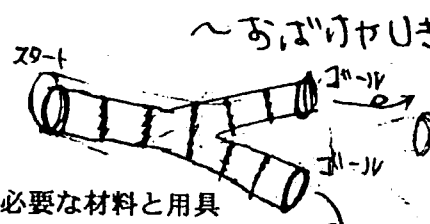
おもちゃ： まと当てゲーム



①人の形に切ったダンボールに
点数などを書いておく(まど当て)
玉は、ガムテープを丸めたもの。
倒れないように後ろを固定しておく。
②裏面に穴をあけておいて、穴を玉
が通るくらいなど...

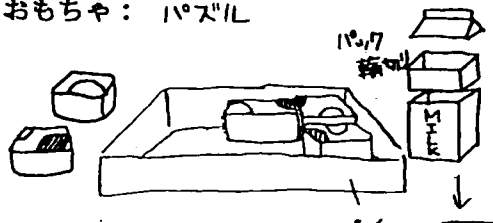
必要な材料と用具
ダンボール、ガムテープ、マジック
はさみ

おもちゃ： ダンボールのトンネル
～あはれやしき～




必要な材料と用具
ダンボール・ガムテープ
布 etc

おもちゃ： パズル



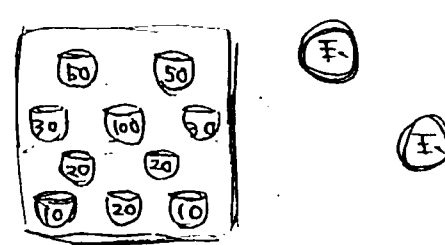
必要な材料と用具
テープ、のり など 接着具
牛乳パック マーカー 画用紙

おもちゃ： ゆなげ



必要な材料と用具
ダンボール、ペットボトル、ビニールテープ、
えのぐ、マジック、ガムテープ、
新聞紙。

おもちゃ： 玉入れ



必要な材料と用具
ぬの、ダンボール

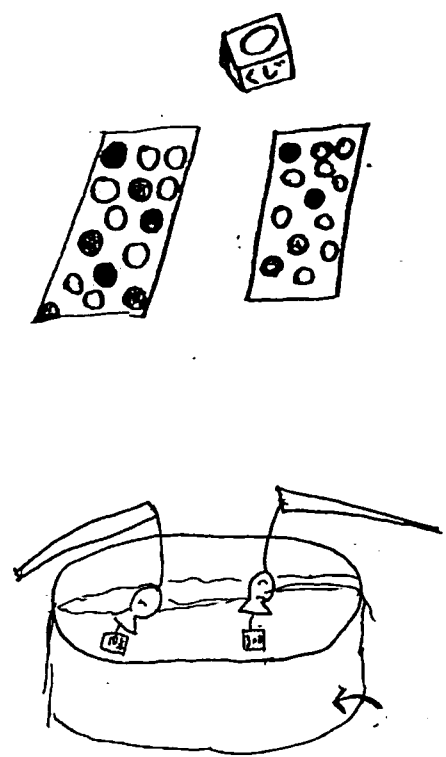
おもちゃのアイデア (班)

資料9

幼児の喜ぶおもちゃをつくろう！！

3年組 番氏名()

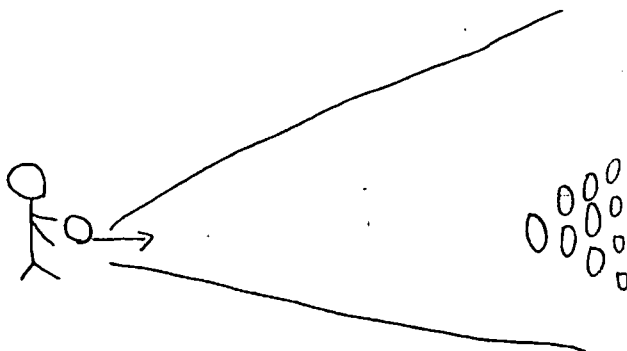
おもちゃのタイトル: 悪の大王を切り倒せ!! & 投げ倒せ!! & 跳り倒せ!!	
材 料	ダンボール、大巻の広告紙、セロテープ
用 具	机(長)
完成図	
遊び方をくわしく書こう。	
○切り倒せ...新聞紙で作った悪大王の人形を 3つ武器をつくらせ、えらばせ、一発で倒せたら勝ち	
○投げ倒せ...ダンボールで作った的を新聞紙で作ったボールを あてて、倒す	
○跳り倒せ...スリッパをひばこで わくに入れ、倒せた身になる	
○ラスト...僕が村長になり、かんじ状をわたす。	
制作者	



幼児の喜ぶおもちゃをつくろう！！

3年組 番氏名()

おもちゃのタイトル: 輪投げ	
材 料	ダンボール・厚紙、バネ付のり、のり、ビニールテープ、はさみ
用 具	ハサミ・カッター・クレヨン
完成図	
遊び方をくわしく書こう。	
2チームに分かれて競い合う。	
制作者	



家庭科プリント ~手づくりおもちゃを使って幼児とふれあおう~

3年組 番氏名()

(自己評価)

- 1 今日の授業は楽しかったですか。 楽しかった 楽しくなかった
- 2 幼児と積極的にふれあうことができましたか。 できた できなかった
- 3 幼児とのかかわり方を工夫しながら接することができましたか。 できた できなかった
- 4 自分の目標は達成できましたか。
 目標「楽しい思い出をつくる 一人の子ができないようにする」
できた まあまあできた できなかった

今日の授業の感想を書こう

一人の子が(なみみ◎)うちにぶきりをぶった。いっしょに。
 ツイスターが一番楽しかったと言ってもらえた。
 うれしい。作ったのがあった。
 うー今にのうで筋肉痛。

家庭科プリント ~手づくりおもちゃを使って幼児とふれあおう~

3年組 番氏名()

(自己評価)

- 1 今日の授業は楽しかったですか。 楽しかった 楽しくなかった
- 2 幼児と積極的にふれあうことができましたか。 できた できなかった
- 3 幼児とのかかわり方を工夫しながら接することができましたか。 できた できなかった
- 4 自分の目標は達成できましたか。
 目標「話しかけてあげる(自分から)」
できた まあまあできた できなかった

今日の授業の感想を書こう

小さいことあそんだりするのは楽しかったけど、
 すごく自分的に体力がいることがわかった。
 あそぶことが、あんなにまつりとは思わなかったけど
 色々な子にながれたりしたのはすごくうれしかった。